



気象台のお仕事

天気相談所四季折々(夏編2)

大阪管区気象台 気象防災部 予報課
天気相談所 有本 敏雄

2 季節毎の特徴的な問い合わせ事項(7月号より続き)

(2) 夏(6月～8月)

・夏日、真夏日、猛暑日

夏日は日最高気温が25℃以上、真夏日は日最高気温が30℃以上、猛暑日は日最高気温が35℃以上の日をいいます。

近年は猛暑日の発現日数が増える傾向にあり、全国各地で熱中症による救急搬送が増加しています。特に2013年の夏は、高知県四万十市江川崎アメダス観測所で日最高気温41.0℃と、これまでの埼玉県熊谷及び岐阜県多治見で観測した40.9℃を抜いて日本一の最高気温を観測するなど、顕著な高温となりました。大阪市でも、猛暑日の継続日数が17日(8月7日～8月23日)となり、1920年以降の統計で1位の記録を更新しました。

大阪市における夏日、真夏日、猛暑日の初終日と最大継続日数は表1のとおりとなっています。

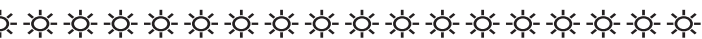
表1:大阪における夏日、真夏日、猛暑日

種目	日最高気温	最早	最大継続日数	統計開始
		最遅		
夏日	25℃以上	2002/4/2	112日 (1955年6/12～10/1)	1920
		1939/11/9		
真夏日	30℃以上	2005/4/30	75日 (1994年6/29～9/11)	1920
		1933/10/20		
猛暑日	35℃以上	2013/6/13	17日 (2013年8/7～8/23)	1920
		2007/9/22		

・クマゼミと梅雨明け

梅雨明け前後の頃に「セミが鳴き始めたので梅雨は明けたのか？」との問い合わせが入ることがあります。

気象庁では、季節の遅れ進みや気候の違いなどの推移を知るため、動物季節観測を行っており、大阪では、モンシロチョウ(初見:平年3月31日)、ツバメ(初見:



平年4月4日)、クマゼミ(初鳴:平年7月8日)、ニイニイゼミ(初鳴:平年7月12日)、アブラゼミ(初鳴:平年7月16日)を観測しています。

官署によっては、これらの他に、トカゲやホタルの初見、モズの初鳴きなどを観測しています。気象台の周辺概ね5km未満の範囲で見たり、聞いたりした初日を記録します。

私もクマゼミが一斉にガシガシガシと鳴き始めると梅雨も明けたなどの思いがあり、梅雨明けとクマゼミの初鳴きの関係を調べてみました(表2)。結果的にはあまり関係は無さそうですが、相対的にはクマゼミの初鳴きの方が梅雨明けよりやや早い傾向にあるようです。

(続く)

表2:クマゼミの初鳴きと梅雨明け

年	クマゼミの初鳴き	梅雨明け
2001	7/9	7/19ごろ
2002	7/5	7/20ごろ
2003	7/9	8/1ごろ
2004	7/5	7/13ごろ
2005	6/30	7/18ごろ
2006	7/14	7/27ごろ
2007	7/3	7/24ごろ
2008	7/11	7/12ごろ
2009	7/8	8/3ごろ
2010	7/6	7/17ごろ
2011	7/13	7/8ごろ
2012	7/11	7/16ごろ
2013	7/5	7/8ごろ



著者紹介 有本 敏雄(ありもと としお)

鳥取県出身。防災士。2011年4月から再任用で大阪管区気象台予報課天気相談所技術主任現職。鳥取地方気象台を振り出しに、西郷測候所、大阪管区気象台、彦根、広島、松山、京都地方気象台等を歴任、2011年3月気象庁定年退職。趣味は写真、カラオケ、釣りなど。

広 告